

植栽参考事例集(事業者)

東山遊園株式会社 星が丘テラス

街角に生まれた小さな生態系

■ 基本情報

- **所在地**：名古屋市千種区星が丘元町 16-50
- **面積**：植栽エリア 約 2,000 m² うち在来の森 約 40.75 m²
- **整備時期**：2023年7月～2024年2月（プランターを追加し、在来種を中心とした植栽を行っています。）
- **体制**：計画・設計・植栽は有限会社メイガーデンズ

■ 在来種の植栽に至る背景

近年の猛暑などの気候条件に耐え、長期間良い状態を保つ植栽を構成するには、元来日本の風土に合っている在来種を選定することが良いと考えました。在来種を活用して、ローメンテナンス、サステイナブルな植栽を目指しています。

■ 主な植栽植物など

- **植栽種**：イロハモミジ、ソヨゴ、シラカシなどの樹木や、ヤブランやワレモコウなどの草本類など、在来種を中心に構成しています。
- **その他**：サンショウやフジバカマなど、チョウを呼び、観察しやすい植物も植栽しています。



緑化の課題

- **夏の猛暑と昆虫たちとの共存**：厳しい夏の猛暑をうまく乗り切り、良い状態で植栽を維持することが課題です。地下鉄の出入り口という通行量の多い街角にあるので、街に溶け込みつつ美化にも努めています。また、商業施設であるという特徴から、時に虫などの生きものが店内に迷い込むこともあります。スタッフが店外に出す対応をとり共生しています。

緑化の工夫

- **変化をつけて森らしさを演出**：土がないところでも大型のプランターを使うことにより、高木の植栽を可能にしています。また、大きささまざまなサイズのプランターを配置し、見た目に変化をつけて森らしさを演出しました。また、昆虫の冬越しの場となる「インセクトホテル」を作り、施設内に設置しました。ベランダなど、地面がない場所での緑化のモデルにもなるのではないかと考えています。